

輝き



令和5年度 第12号

<令和6年3月25日発行>

江戸川区立南葛西中学校

校長 日野 志磨子

第44回卒業式

3月19(火)、第44回卒業式が行われました。146名の卒業生の門出を祝い、江戸川区教育委員会教育委員の方をはじめ、多くのご来賓、保護者のみなさまにご臨席をいただきました。三年生は、非常に立派な姿勢、態度で1時間半の卒業式を終え、南葛西中を巣立っていきました。

参加したご来賓、保護者のみなさまから「大変立派な卒業式でした。」「自分の子供がこんなに成長してくれて親としてうれしくてたまりません。」「生徒の合唱の歌声が素晴らしくて、思わず涙があふれてしまいました。」「など、感激の声が私にも伝えられました。

これから自分で選んだ新しい道を歩いていく卒業生にエールを送ります。

一、二年生のみなさんは残念ながら予行演習までの参加で、代表生徒を除いて卒業式に参加することはできませんでした。そのため、卒業生代表生徒の「別れの言葉」は聞けませんでした。そこで、こちらに卒業生代表の磯崎めいさん、鈴木洗貴さんの「別れの言葉」を載せます。ぜひ、読んでください。

次はみなさんの番です。一、二年生は卒業生から南葛西中学校を託されました。三年生の前向きでひたむきな姿勢を引き継ぎ、上級生としての姿を4月に入学する新入生に見せてください。

卒業生の前途に幸多きことを祈ります



～ 卒業式 (別れの言葉) ～

桜の蕾が膨らみ始め、春の暖かな日差しを感じられる季節となりました。この良き日に、私達146名は南葛西中学校を卒業します。

今、私達が手にしている卒業証書には、三年間の中学校生活での思い出、そして歩いていく未来への希望が詰まっています。

三年前の春、私達は南葛西中学校へ入学し、新たな成長の場のスタートラインに立ちました。初めての中学校生活では、慣れない環境に自分を合わせることで精一杯でした。

野田清水公園を訪れた初めての校外学習。みんなでカレーを作ったり、アスレチックで遊んだりし、新しい仲間と友情を深める機会となりました。

毎日が初めての事で溢れていた一年生が終わり、私達は二年生に進級しました。後輩ができたことによって、私達は先輩という立場を意識するようになりました。

真夏の晴天からスタートした林間学校。畑仕事をしたり、ラフティングを楽しんだり、三日間寝食を共にした仲間とは絆が一層深まりました。

九月に行われた職場体験。皆それぞれの職場で学校ではできない貴重な体験をし、社会に出て働くということの楽しさ、そして厳しさを学びました。この経験は、私達にとって自分の将来と向き合うきっかけとなりました。新型コロナウイルスが落ち着き、いよいよ制服登校が始まった三年生。受験生としての気持ちが引き締まるスタートとなりました。

中学校最後の運動会。体育の授業で作上げた「青と夏」では、大きな拍手が沸き起こり、三年間の集大成を飾ることができました。ムカデ競争では、練習の時に掛け声が合わず、転んでしまうことが何度もありました。しかし、転んでも立ち上がり、成功するまで何度も練習を重ねました。クラスで一致団結し、優勝を目指して努力した時間は私達にとってかけがえのない思い出です。

京都、奈良を訪れた修学旅行。一日目には、薬師寺のお坊さんに「面白い」という言葉の由来を教えてくださいました。このお話はこれからも笑顔でいられるよう、上を向いて進んでいこうという気持ちにさせてくれました。二日目と三日目は班で立てたコースを巡りました。事前にコースを計画したにも関わらず、当日にはハプニングが起きてしまうこともありました。しかし、そのような困難を班員で乗り越えたことも私達の成長となりました。そんな笑顔の絶えない三日間は、あっという間に過ぎ去っていきました。

クラスの思いが一つになった合唱コンクール。優勝を目指して毎日放課後練習に精一杯取り組み、私達は唯一無二のハーモニーを作り上げました。本番では、初めての舞台上で練習の成果を全て出し切れるかという不安との闘いでした。しかし、いざ歌い始めると、そのような不安はみんなですごう楽しさが消し去ってくれました。舞台上に立ち、スポットライトを浴びた私達は自信をもって客席にいる一人一人へ思いを届けることができました。

そして、近づいてきた受験という壁。人生を賭けた十五年間で一番大きな戦い。自分の将来と真剣に向き合い、一心不乱に勉強したのは初めてのことでした。これ以上ないくらいに努力しても結果が出なくて悔しい思いをしたこともありました。しかし目標に向かって努力したからこそ大きく成長できたのだと思います。

こうして振り返ると、山あり谷あり、たくさんの事が南葛西中学校の生活でありました。あっという間に三年という時が過ぎ、私たちは今日卒業します。私達が今この場にいるのはたくさんの方々に支えていただいたおかげです。

三年間私たちを優しく、時には厳しく、一番に考え指導して下さった先生方。本当にありがとうございました。生徒の健康を気遣ったおいしい給食を考えて下さった栄養士さん、並びに調理師の方々。いつもと変わらず学校生活を送れるように学校を隅々まで管理し、環境を整備して下さった事務主事、用務主事の方々。より良い学校生活を送るためにご尽力下さったPTA役員の方々、地域の方々。今まで本当にありがとうございました。

在校生の皆さん。この卒業式のために体育館を設営して下さりありがとうございました。南葛西中学校で過ごす時間は三年です。三年間でたくさんの事を学び、たくさんの人と関わると思います。今そばにいる友達を大切に、後悔のないように一生に一度の中学校生活を楽しんでください。大きく成長し続ける皆さんに、これからの南葛西中学校を託します。

そして何より、たくさんの迷惑や心配をかけた家族、十五年間私たちを見守り続けてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。義務教育が終わる今日まで、頑張る私たちを支え、励まし、たくさんの愛を持って育てて下さり本当にありがとうございました。これからよろしくお祈りします。

三年前の春、同じ門をくぐり、数々の思い出を共有してきた友達。そんなみんなとも今日でお別れだと思っても寂しいです。悲しいとき、苦しいとき、悩んでいるとき、どんな時でもいつもそばで支え、共に壁を乗り越えてきました。私はこの学年のみんなと出会えて本当に幸せでした。これからそれぞれの道を歩んでいきますが、ずっと変わらない関係でいましょう。みんなの幸運を願っています。

この式が終われば私たちの中学校生活は終わります。そして同時に新たな人生が始まります。この南葛西中学校で得たもの、学んだことを糧とし、夢に向かって努力し続けることを新たに誓います。

最後になりましたが、今までお世話になった方々に感謝すると共に、皆様のご健康とご多幸を、そして私たちの母校である南葛西中学校の更なる飛躍をお祈りし、別れの言葉と致します。



令和六年三月十九日
卒業生代表
磯崎 めい
鈴木 洗貴